

ランチョンセミナー3

実践！よりシンプルに体温管理療法をするコツ ～より多くの心肺停止蘇生後の適応症例で行うために～

日時

【現地会場/ライブ配信】2021年11月12日(金) 12:00～12:45

【オンデマンド配信】2021年11月22日(月)～12月31日(金)

※会期後、講演の収録動画を上記日程で配信予定です。

会場

第3会場(ホテル日航奈良 羽衣) * Web開催併用

座長

今井 寛 先生

三重大学医学部附属病院

救命救急・総合集中治療センター / 救急科 センター長・教授

演者

石倉 健 先生

三重大学医学部附属病院

救命救急・総合集中治療センター / 救急科 副センター長・講師

参加
方法

セミナーを現地参加または Web 視聴いただくためには、事前に学会参加登録が必要となります。

詳細は、学会ホームページをご確認ください。 <http://sosei2021.umin.jp/>

※学会事前参加登録期日：【現地参加】11月10日(水) 17:00まで

【Web参加】11月13日(土) 17:00まで



学会参加登録の上、いずれかの方法で、セミナーに参加ください。(事前申し込み制ではありません)

●**現地参加**：開催時間にセミナー会場にお越しください。入場証をご提示の上、資料やお弁当をお受け取りください。

●**Web参加**：ウェブでご視聴いただけます。視聴方法は、学会ホームページをご確認ください。

販売名：Arctic Sun 5000 体温管理システム

承認番号：22700BZX00278000

製造販売元：株式会社メディコン

販売名：Arctic ジェルパッド

認証番号：226ADBZX00175000

製造販売元：株式会社メディコン

実践！よりシンプルに体温管理療法をするコツ

～より多くの心肺停止蘇生後の適応症例で行うために～

石倉 健 先生

三重大学医学部附属病院 救命救急・総合集中治療センター / 救急科
副センター長・講師

心肺蘇生ガイドライン 2010 から心肺停止後の脳保護戦略として体温管理療法が提示されるようになりました。当初は 32～34 度 12 時間以上でしたが、ガイドライン 2020 では 32～36 度 24 時間以上となっています。その後、TTM2 study の結果が発表され体温設定の考え方が変わってくる可能性があります。もう少し踏み込んだ解釈が必要かもしれません。このように体温管理療法についてはガイドライン公表後 10 年も経過していますが、十分に実施されているとはいえない状態です。なぜならいろいろ推奨されている方法は管理が煩雑であり、医師だけでなく看護師や臨床工学技士にも大きな負担をかけているためです。日本全体の心肺停止後の社会復帰率を上げていくための一つとして、救命救急センターだけでなく救急患者を受入れしているすべての施設で簡易に体温管理療法を行うことが重要と考えられます。

ここではどこの施設でも簡易に体温管理療法を導入するための方法を、当院で実際に行っている心拍再開直後からの流れや合併症対策を元に提示していきます。現場で救急医療をされている施設の方々にとってお役に立てれば幸いです。

共催 日本蘇生学会第 40 回大会 / 株式会社メディコン

製造販売元

株式会社メディコン

本社：大阪市中央区平野町 2 丁目 5 - 8 ☎ 0120-036-541

crbard.jp

BD, the BD Logo and Arctic Sun, Arctic ジェル are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates.
© 2021 BD. All rights reserved.
BD-45843

